

茨城地区ニュース 2018年9月

◆◆2018年度【秋の全国研集会 in 茨城】参加！！お待ちしております。◆◆

今年の秋の全国研は、茨城のつくば市で開催します。

絵本作家の**いわむらかずお**さんは、雑木林の中で家族と暮らしながら絵本を描きつづけてきた作家です。幼児期に戦争の真ただ中を過ごし、戦争の不安と疎開先でのさみしさはありながらも、豊かな自然にふれあったことが救いであり、その体験から雑木林で暮らす「野ねずみ一家」の絵本を描くようになりました。今でも「9条の会」の会員として、また原発反対をかねながら活動しています。

全国研では自然との共生から生みだされる数々の絵本のエピソードや人としての生き方など、どんな話が聞けるか楽しみです。**黒坂黒太郎**さんは、「コカリナ」の第一人者で、ニューヨークのカーネギーホールでも演奏しています。東日本大震災では、いち早く現地にかけつけ、演奏活動や支援活動に取り組み「奇跡の一本松」をくりぬいたチップで布を織り、コンサートで身につけたり、新国立競技場建設の為、鳥や子どもたちの笑い声が響いていた神宮の森の木を何百本もを切り倒された事に心傷ませ、その木を使ってたくさんのコカリナを作り、都内の小中学校に贈り、木の魂を響かせる活動に取り組んでいます。コンサートでは神宮の森の木々に想いを込める歌 ♪世界中の友達に平和を♪ や、長野の子どもたちが山んばの木と呼んで遊び場にしていた木が伐採される時に作った ♪風になれ 山んばの木♪ を茨城の保育士たちみんなで歌います。全国のみなさんも一緒に歌いましょう。

他にもJAXA(宇宙開発機構)の**神吉誠志**さんや、歯科医師(赤ちゃん歯科ネットワーク代表)の**石田房枝**先生のお話など、つくばらしい内容になっています。 **みなさん是非、ご参加下さい！！**

◆◆今年も楽しめた “蛍” の交流です。◆◆

6月28日天候に恵まれた朝、まっぼっくり保育園の子どもたちがそとの保育園に遊びに来ました。目的は“蛍狩り”と保育園同士の交流です。早速2園の顔合わせをしてから、ザリガニつりやスイカ割りなど楽しみ、夕方は、お腹いっぱいカレーを食べて大型バスに乗って、いよいよ蛍狩りに出発！バスの中では、「ホタルって何色に光るのかなあ？」「つかまえられるかな？」とホタルへの期待が膨らんで、“ほたるこい～じんじん”を大合唱しながら『ほたるの里』へ向かいました。実はこの時、「今年は暖かかったので、ホタルが出る時期も早くて今はいないよ」という地元の人の言葉を聞いていたので、私たちの心中は穏やかではありませんでした。・・・でも、ホタルはいました！！子ども達が歌をうたったり「ホタルさーん出ておいで～」と呼んでいると、森の方からホタルがスーッと出てきて数えているうちにどんどん増えてきました。「あそこにいる！」「こっちで光った！」と子ども達は大興奮！手のひらにホタルが降りてきて、つかまえられる子もいました。手のひらで黄緑色に光るホタルを皆で興味深げに見つめていました。子ども達が動く方へホタルも集まってくるような・・・地元の人曰く『ホタルは賑やかな所が好き』ということでした。帰りのバスの中ではホタルの話で持ちきりだったことは言うまでもありませんでした。《



◆◆海遊び◆◆

今年は、「年長親子キャンプ(年長父母主催)」の取り組みとして「海遊び」を体験しました。

阿字ヶ浦の海は大波がザンブリコ～と打ち寄せ、また引き波も勢いよく、どの子も歓声をあげて大喜びし、何度も何度も波に向かっていく子どもたちでした。大勢のお父さんお母さん方に守られながら、自然の大波のすごさを体で感じ、海水の塩辛さや、また砂浜の気持ちよさも体験し、普段見ることのできない偉大な海の大きさ・広さ、また海の青さ・空の青さを目で見ても肌で感じた、海遊びの楽しい一日となりました。

まっぼっくり保育園

◆◆部会報告◆◆

今年も7月に第1回の年齢別部会を行いました。各保育園ごとに4月からの子どもたちの姿から、今の悩みや今年の保育の課題などを出し合いながら意見交換をしました。

共通する悩みや子どもの姿から、各年齢ごとに今年度のテーマを考えました。立地条件や環境がちがう中でも、私たちが目指す子どもたちの成長した姿は一緒です。各保育園の報告を参考にそれぞれ園に持ち帰り、保育士たちが子どもたちの発達のために知恵を出し合い、工夫を凝らし保育していくことでしょう。それぞれの保育の実践は、11月に行われる年齢部会で報告し合います。

◆◆歌とリズムの学習会◆◆

6月26日(火)と7月25日(水)の19:00から、たんぼぼ保育園にて職員の学習会を行いました。

1回目は、主に新人職員対象でしたので、以下の内容を、各保育園の園長・主任がそれぞれ担当しました。＜内容＞

- 1「リズムの大切さ」の話
- 2「歌」
- 3「ロールマット」
- 4「基本のリズム(うさぎ・金魚・どんぐり・両せいばい・アヒル)」

特に、「リズムの大切さ」の話は、＜律動＞や＜生物の進化＞など、リズムを根本から学ぶことが出来ました。ロールマットは、まずは大人がやってもらって気持ちよさを味わい、子どもの体のどこを、どのように触れていくのがいいのか、体験しました。基本のリズムでは、介助の仕方を学び、7月3日の交流リズムの時に、学びを活かした介助をすることができました。

2回目は、歌の先生を招いて表現指導をしていただきました。「黒坂黒太郎」作詞作曲の『世界中の友達に平和を』は、歌詞の意味の深さを知り、想いを込めながら歌いました。今後も大人自身の感性が豊かになる研修を大切にしていきたいと思います。



◆9月合宿は5日~7日と暑さがまだ残る中でしたが、子どもたちも保育士も元気に参加することが出来ました。



★夕食後はそとに出て「お月見の集い」です。秋の草花を飾り、実りを願い柿・くり・ぶどう・梨・お団子などを飾り、「森の小人」輪になって踊り楽しみました。



セロ弾きのゴーシュを 観てきました

一人で何役も違う
衣装で素早く出て
きて、すごいなと
思いました

とっても
歌が上手で
した!

全身、全力で
演じる役者さんの
姿に感動しました

茨城交流保育園様

少ない人数
でもとても迫
力がありました。
たくさん
の笑顔と
元気を貰い
ました。

色々な
音楽が聞け
て嬉しな
かったです



ゴーシュの
諦めない心、
続けていけば
何かが起きると
いう希望。
子ども達の心にも
響き渡ったと思
いますが、大人
の自分も頑張
ろうという気持
ちになりました。
また、それをコ
ミカルに表現す
る宮沢賢治の
世界堪能でき
ました。
(T父)

子どもたちの様子

年長児の子どもたちは集中して最初から最後まで食い入るように見ていた子と途中で飽きてしまいキョロキョロし始めた子と様々でしたが、翌日保育の中で何の動物が出てきて、その動物たちはそれぞれゴーシュに何を教えたかったのか尋ねたところ、みんなそれぞれ答えることができ、ちゃんと理解して見る事が出来たんだと思いました。また、子ども達から「楽しかった」「面白かった」「素敵だった!」とたくさんの声が上がりました。

ゴーシュの
家にいろいろな動物
がやってきて、
音楽を教えてくれ
るところに感動し
ました。

大人が楽しく
感動することが、子
ども達にとってより大
きく楽しさが響きま
す